

校訓	真善美	令和7年度 学校だより <b>「荒中だより」</b> 2月 如月 第22号	発行日	令和8年2月25日
教育目標	自ら考え、協働し、共に未来を 創造する生徒の育成 認め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

## 令和7年度 学校評価まとめ

12月に行った学校評価アンケートの結果（一部抜粋）を報告いたします。

### 令和7年度 学校評価（生徒、保護者）集計

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない(単位は%)

生徒		①	②	③	④	肯定的評価 ①②の合計	
1	授業はわかりやすく楽しい。	25.1	57.6	12.9	4.4	82.7	
2	先生は教え方にいろいろ工夫している。	51.8	39.6	6.9	1.8	91.4	
3	学校の授業以外に普段どのくらい勉強 しますか。(塾なども含む) ①2時間以上②1時間以上 ③1時間未満④全くしない、無回答	1年	15.0	36.7	37.4	10.9	51.7
		2年	4.7	25.1	45.0	25.1	29.8
		3年	40.9	37.9	12.9	8.3	78.8
4	学校へ行くのが楽しい。	42.4	39.6	13.1	4.9	82.0	
5	学校行事は楽しい。	75.3	18.0	4.9	1.8	93.3	
6	先生は生活面について適切に指導している。	49.8	41.6	7.6	1.1	91.4	
7	先生は生徒の悩みや不安に親身になって相談の てくれる。	47.1	41.1	8.7	3.1	88.2	
8	自分を大切にすることや、他の人への思いやりにつ いて教えてもらっている。	48.7	41.3	8.7	1.3	90.0	
9	学校では、早寝、早起き、朝食をとるなど、規則正しい 生活を心がけるように教えてくれる。	44.7	41.8	10.7	2.9	86.5	
10	学校が生活の場として清潔で美しく整っている。	30.9	53.8	12.2	3.1	84.7	

保護者		①	②	③	④	肯定的評価 ①②の合計
1	先生は、生徒の学力をつけるよう努めている。	31.8	56.9	9.6	1.7	88.7
2	子どもは、家庭学習に積極的に取り組んでいる。	17.0	36.6	33.3	13.1	53.6
3	子どもは、楽しく学校に行っている。	27.7	35.5	20.3	16.6	63.2
4	子どもは、学校行事に積極的に参加している。	57.1	31.8	6.8	4.4	88.9
5	学校は適切に生徒指導をしている。	44.9	44.2	9.2	1.7	89.1
6	学校は自分を大切にすることや、他の人への思いやり について教えている。	29.4	57.3	11.8	1.5	86.7
7	学校では、早寝、早起き、朝食をとるなど、規則正しい 生活を心がけるように指導している。	27.2	60.3	10.6	1.5	87.5
8	学校は、学校の情報を学校だよりやホームページ等を 通じて保護者に伝えている。	36.8	50.1	11.8	1.3	86.9
9	学校は、学習の場として子どもの活動しやすい環境が 整っている	27.9	56.9	12.0	3.3	84.8
10	学校は保護者の願いに応えている。	22.2	61.4	14.8	2.4	83.6

生徒アンケートについて、多くの項目で80%以上の生徒が肯定的な評価をしています。特に「学校行事は楽しい」が非常に高く、充実した学校行事が行われていることがわかります。また、「先生は教え方にいろいろ工夫している」「生活面について適切に指導している」も90%以上と高く、一定の評価を得ていると考えています。しかし、「学校の授業以外に普段どのくらい勉強しますか」の項目では、少し心配な結果でした。3年生は受験前ということもあり、相応の学習時間を確保して

いることがわかりますが、1・2年生については、家庭学習の時間が1時間未満という生徒が多く、日々の授業の復習や予習に十分な時間を取れていない現状がわかりました。各教科からの課題などをメ切的直前になってから取り組むのではなく、理解の定着のためにも、計画的に学習する習慣を身につけてほしいです。そのことが3年生になったときに、みなさんを助ける力となることでしょう。

保護者アンケートでも同様に、「子どもは家庭学習に積極的に取り組んでいる」が低い結果となりました。2年生は来年度、いよいよ高校受験です。また、1年生も来年度から部活動が地域展開される中で、自分の時間をしっかりとコントロールする力が求められます。まずは、日々の放課後の過ごし方などを考え、学習計画を立てるところから取組を進めていきましょう。

また、保護者アンケートでは、「子どもは、楽しく学校に行っている」が低い結果でした。生徒アンケートでも「学校へ行くのが楽しい」は他の項目に比べて低いです。「生活面での適切な指導」や「思いやりについて教えている」など指導面の項目は約90%の高い結果となっていますが、保護者・生徒にとって、学校が十分に安心して過ごせる環境となり得ていないことがうかがえました。

学校生活で仲間と協働したり、授業で対話的に学んだりする中で、「どんなことでも安心して発言できる」ことや「自分が仲間から必要とされている」ことは、とても重要なことです。学習面での不安や、人間関係のトラブルや悩みがあると、安心して授業が受けられませんし、何より楽しく生活が送れません。今、SNSの普及やコロナ禍を経て、人との関わり方に大きな変化が出ています。学校においても授業や指導の工夫はもちろん、人との関係構築や相手を尊重しながら自分の気持ちを表現するといったソーシャルスキルを丁寧に伝えていく必要性を感じています。

これらの結果を真摯に受け止め、今行っている取組を振り返るとともに、今年度実施した他のアンケート調査等も参考にしながら、今後の取組に活かしていきたいと考えています。